

学校名 桶川市立加納小学校
所在地 桶川市坂田883
電話 048-728-3533

1 本校の概要

本校は、桶川市東部に位置し、今年で創立 145 周年を迎える児童数 355 名の小規模校である。学校教育目標「自分をみがき ともに生きる かのうっ子」、めざす学校像「地域に誇れる加納小学校」の実現に向けて、教育活動を進めている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 読書に親しむ活動
- ・ 家庭や地域との連携
- ・ 読書月間の取組
- ・ 図書室の環境整備

(2) 実践の概要

ア 読書タイム

毎週水曜日の業前活動は、読書の時間として、全校一斉に読書を実践している。担任も一緒に読書をし、集中して本を読む雰囲気づくりをしている。

イ 読み聞かせ

読書タイムの時間に、図書ボランティアの方による読み聞かせを、月 1 回行っている。また、毎年 11 月に桶川子どもの本の会の方による、「秋のお話会」を実施している。



ウ 読書月間の取組

毎年 11 月を読書月間とし、読書意欲を高めるために、読んだ本のタイトルと感想をりんごの実に

書いて貼り重ねていく、「読書の木」の掲示を各学級で行っている。読書集会では、図書委員が全校児童を前に、大型紙芝居の読み聞かせや、クイズを行った。



エ 図書室の環境整備

各校に 1 名配置された学校図書館教育補助員や図書ボランティアの方々と連携し、本のクリーニングや、季節に合わせた掲示物の作成、おすすめの本や新しい本の紹介コーナーを作成している。

3 成果と今後の課題

(1) 成果

読書月間の取組では、「読書の木」の掲示により、各クラスとも図書室の本の貸出冊数が増え、本に親しむ児童の姿が多く見られた。また、学校図書館教育補助員や図書ボランティアの方々の協力により、明るく楽しい図書室の環境のおかげで、来室者が増えた。

(2) 課題

読書月間だけでなく、年間を通して貸出冊数を増やすために、児童が興味をもてるような取組をしていきたい。

(3) おわりに

各学年で選書を行っているが、選んだ本の学習時におけるより効果的な活用方法について、考えていきたい。